

アンディコ®

巻頭特集

栄屋乳業株式会社 アンディコ

お馴染みのお菓子メーカーが作る

新しいデザートの世界

「アンディコ」ブランドでお馴染みの栄屋乳業株式会社は、1946年にアイスクリームの製造販売として創業以来、シュークリーム、カップケーキ、プリンなどを全国に販売。シューアイスは全国90%以上のシェアを占めています。岡崎市内にある栄屋乳業株式会社で人気商品の開発秘話や今後の取り組みについて聞きました。



アンディコの公式 twitter はコチラ!



創業者・野田郷司氏による画期的な発明で市場を席巻

「甘いものを味わい、幸せを感じて欲しい」。栄屋乳業が誕生したのは、戦中・戦後の食糧難の時代、飢えに苦しむ人々の姿に心を痛めていた創業者・野田郷司氏の思いが始まりでした。終戦翌年の1946年に、アイスクリームメーカーを製造販売する栄屋乳業を創業。1956年には本格的にアイスクリームの製造を開始し、事業を拡大していきます。

ここで問題が発生します。映画館の売り子から「アイスがすぐ溶けて困る」という声が上がったのです。そこで郷司氏が発明したのが「アイスクリーム保存器」。これにより栄屋のアイスクリームは瞬く間に全国へと広がりました。野田陽太郎代表取締役社長は「祖父の郷司は、旧国鉄に勤めていた頃からとにかく発明が大好きな人でした」と話します。その後も、逆さに充填することで大量生産を可能にした「ソフトクリーム製法」や、小豆の粒をつぶさずに氷の中に入れる「あずきかき氷製法」など、画期的な製法を発明し、アイスクリーム業界に大きなインパクトを与えました。

トを与えたのです。独自のあずきかき氷製法で作られた商品はヒットし、これを足掛かりに関東や関西、北陸などへと営業所を拡大していきます。長年ネックとなっていたのは「冬」でした。「創業以来ずっとアイスを作ってきた当社にとって、季節の偏りを解消することは積年の課題でした」と野田副社長。そこで1970年代後半、お馴染みの「アンディコ」ブランドを打ち出し、シュークリームやプリンなどを幅広く製造販売するように。現在では、シュークリームやエクレア、ワッフルなどの「 베이 クド」が売上全体の3割、プリン、ゼリーなどの「チルド」が3割を占めるなど、全天候型の多彩な商品ラインアップで、全国のスイーツ市場を席巻しています。

20代の斬新なアイデアが他にはないヒット商品を生む

「大企業が作らない、作れないものを世に送り出すのが私たちの強み」と誇らしげに語る野田副社長。1976年に開発したシューアイスは大手メーカーが真似するのは難しいといい、全国シェア90%を占める看板商品へと成長しました。「大手メーカーであれば、アイス工場とベイクド工場は、別々の場所にあるのが当たり前です。当社のように2つの工場が同じ敷地内にあるからこそ生み出した商品の一つです」。すべてが最初からうまくいくわけではありません。今や大ヒット商品へと成長した2011年発売の「こだわり極プリン」は、無添加でありながら100円という低価格で高級プリンを



栄屋乳業株式会社 代表取締役副社長 野田 陽太郎さん

随を許し、生産終了に追い込まれた苦い経験があります。「現在、シューアイスは全国シェア90%を占めていますし、『こだわり極プリン』も6割ほどのシェアを獲得しています。これからも大手メーカーさんが真似できない商品づくりを続けていきたいです」。今後は、アイス製造で培ってきた冷凍技術を生かし、惣菜など冷凍食品の開発にチャレンジしたり、海外市場のさらなる拡販も視野に入れています。

最近では、地元での地域貢献活動にも力を入れ始めた栄屋乳業。11月は岡崎市立矢作南小学校の児童を招いて2日間の工場見学を開きます。「私たちも工場見学は初の試みですが、今後はこうした活動を徐々に広げていきたいです。地元である岡崎市の皆さんに、私たちアンディコをより一層、応援していただけたらうれしいですね」。

TVCM オンエア中!

QRコードからTVCMが見れるよ!

アンディコちゃん
キャラクターバージョン

こだわり極プリン
バージョン

昭和世代に懐かしい TVCM

ジュンヒットチョコの CM

シュークリームの CM

アンディコの CM 裏話

「おいしいから、早く食べちゃうんだね」。昭和世代には懐かしい「ジュンヒットチョコ」のテレビCM。これが流れ始めたのは1993年頃のこと。最近では全面リニューアルした新CMが流れています。よく見てみると、どちらも「ラガーシャツを着ている」という共通点が！

思わせる濃厚な味わいを実現。開発段階では、価格を抑えるためにさまざまな苦労に直面したものの、「世界中から厳選した原料を集め、10年後も残る商品を作ろう」とを合言葉に、夢とロマンを詰め込んだ品を世に送り出しました。

栄屋乳業では、定番商品から季節限定商品まで、年間300種類ほどを販売しています。画期的な商品を生み出す原動力となっているのが、入社間もない新人の発想力です。「当社の開発メンバーは20代が中心。素人目線で『自分が欲しいもの』を作ってもらうのが基本です。例えば、セブンイレブンで販売している『まるで完熟マンゴー』というPB商品は、入社2年目の若手社員の発案で商品化されたものです」。もともとプリンの製造ラインで働いていた経験から「プリンのようなアイスができないか」と開発をスタート。あまりに溶けすぎて何度も暗礁に乗り上げそうになったものの、試行錯誤を繰り返して『まるで完熟マンゴー』は商品化にこぎつけたのです。「馴れてしまふと斬新な発想は生まれにくいもの。製造現場ではトラブルが続発しますが、他社にない商品を生み出すためには、常識にとらわれない20代の新鮮なアイデアを大事にすべきだと思います」。

☆岡崎フリモ読者限定☆

たくさんの応募お待ちしております

抽選で10名様に

オリジナルクオカード(500円分)プレゼント

※応募受付ははがきのみとなります。

はがきに

住所・氏名・年齢・アンディコ巻頭特集の感想をご記入の上、〒458-0036 名古屋市中区六田1-150 中広 岡崎フリモ編集室 アンディコプレゼント係 までお送りください。

※1世帯1通まで。複数応募無効。

《締切》12/20(火) 必着